より深く大きな輪に
＝美浦村一行を迎え交歓会＝

美浦村との交流30年

友好をさらに深めることを確認しがっちりと握手

交流三十年を迎え姉妹村の輪をもっと深く大きいものにするため、茨城県美浦村の市川紀行村長はじめ一行七人を本村に迎え、四月十六日、十七日の両日交歓会が行われました。

一行は、十六日朝横越村入りし、北方文化博物館わきの遊歩道歩き初めに参加した後農村環境改善センターで開かれた交歓会に臨み率直な意見を交換。翌日は、本村の老人福祉センターや木津工業団地、長いも保冷庫、山崎製パン工場、みずほ生産組合などを視察し交流と親交を深めました。

美浦村との交流は、昭和三十六年に青年団の交流からはじまり、二十年目の昭和五十六年に姉妹村提携が行われました。交流以来これまでに、交流の輪は青年団、婦人会、議員、教育委員、教師から中学生へ広がり、二十六団体が美浦村へ、美浦村からは二十二団体が本村を訪れています。

美浦村は人口一四、五〇〇人の農村地帯で、霞ケ浦に面しワカサギ、シラウオ漁も盛んなところです。日本中央競馬会のトレーニングセンターを誘致したり、首都の整備都市圏入りなどいま大きく発展し続けている村です。

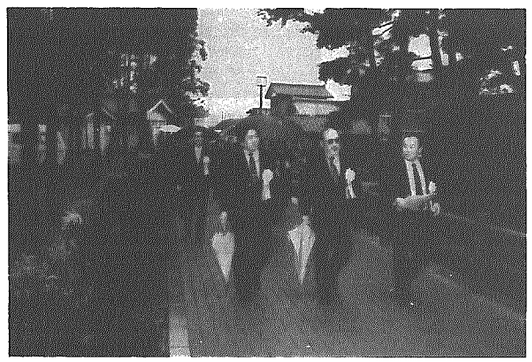
今回の交歓会は、足かけ三十年を迎える交流をさらに深め合い、両村の発展につなげようと浅見村長の呼び掛けで実現したもので、美浦村からは市川村長、小泉助役、坂本教育長、岡野副議長など七名が、本村からは村三役と関係課長や議会、農委、連合婦人会代表が出席しました。

交歓会では、農業後継者不足、嫁不足など共通の悩みも率直に出されるなど活発な意見交換が行われました。そして、両村の発展のためお互いに協力を深め、特産品の相互交換と販路開拓など経済交流の計画も話し合われ、商・農・文化団体の代表者交流や祭りでの郷土芸能の招待、スポーツ交歓、文化祭などでの作品の交換など具体案が次々と出されました。

また、これまで各団体ごとに交流が進められてきましたが、交流を計画的なものとするため、双方の役場総務課に交流窓口を設け、これら交流の具体化を進めていくことになり、今年度は、役場幹部職員等の交流とイベント交流を行うことが確認され、より友好を深めることになりました。

杉木立の散策 楽しんでみませんか

北方文化博物館わきに 遊歩道完成
歩き初めに130人


たくさんの人が参加しての歩き初め

村の観光の核となる北方文化博物館わきにユニークな遊歩道が完成し、四月十六日に歩き初めが村と観光協会によって行われました。

村では、平成元年度から観光振興に本格的に取り組み、道路等の基礎的条件整備を図っていますが、この度立派に出来上がった遊歩道も地域の交通安全を図るとともに、観光客の散策路の趣きを備えた設計とされ、北方文化博物館や地権者の協力をいただくなか総工費約三、三〇〇万円で完成したものです。

遊歩道は、博物館裏の駐車場から杉木立を通り抜け博物館の正門へ結ぶ約二一〇メートルで、レンガ色のコンクリートブロックを路面に敷き、途中周囲の雰囲気とマッチした街灯や水飲み場、投句掲示板などが設けられ、楽しみながら思策しながら歩くことができるようになっています。

歩き初めには、浅見村長や伊藤博物館長等関係者約一三〇人が参加。なかでも姉妹村の美浦村から市川村長ら七人が出席して式に華を添えていただくなか、テープカットに続いて参加者全員が遊歩道を散策して完成を祝いました。

＝北方文化博物館＝ 屋根裏ギャラリーのご案内

漁夫〈P10号〉

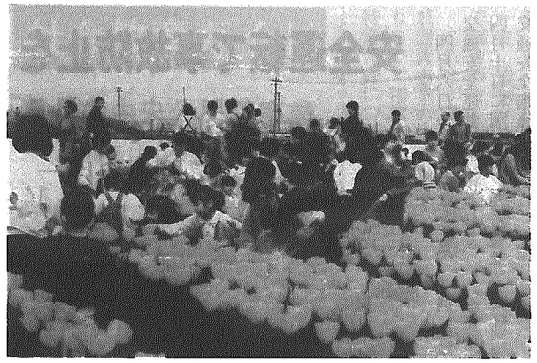
中西和男個展

〈油彩40点〉

■期間　4月21日～5月20日
■会場　屋根裏ギャラリー
■時間　8：30～17：00

チューリップと遊ぼう 親子花摘み大会大盛況

満開のチューリップ畑で ふれあい楽しむ


▲満開のチューリップ畑で花摘みを楽しむ参加者

▶チューリップの花で作った飾りで変身

色とりどりのチューリップが咲く四月二十二日、沢海でチューリップと遊ぼう親子花摘み大会が行われ、村内外から大勢の親子連れが参加して、一五〇種類以上の品種が植えられている展示圃の見学やチューリップとのふれあいを楽しみました。

横越村は全国でも有数のチューリップの球根産地となっており、このチューリップとふれあい、親しんでもらおうと観光協会と村、農協、球根組合などによって催されたもので、当日は天候にも恵まれ村内外から四〇〇人余りが参加。約半数が村外の人で長岡市や三条市などからも参加がありました。

沢海野菜集出荷所に集まった参加者は、青空のもと、色鮮やかなじゅうたんを織りなすチューリップ畑を見ながら花摘みの圃場へ。汗ばむほどの陽気のなか、赤、黄、白の花が満開に咲く五〇㌃の畑で、はじめての花摘みを親子で体験。口々に観声をあげながら思い思いの花をビニール袋いっぱいに摘んでいました。

農村環境改善センターで主催者が用意したとん汁と横越産の乳牛で昼食をとったあと、自分たちが摘みとった花を使ってのゲームに挑戦。王冠や首飾り、髪かざりを作ったり、花を並べて絵を描くなど賑やかに親もいっしょになって楽しみました。

最後は、子供たちがチューリップで変身した格好でウォークラリーが行われ、チューリップとの遊びを一日たっぷりと楽しみ、大いに盛り上がりました。

また、ウォークラリーは設問三〇問の正解率で競われ、入賞者五名に賞品として村の特産品の長芋やスイートコーンなどが旬の時期に届けられます。

献血にご協力 ありがとうございました

村においては、平成元年度の献血で四八四本（延べ三七九人）のご協力をいただき、献血目標本数四四四本に対し、一〇九・〇％という達成率を上げることができました。

みなさんが献血された血液は、病気や事故などの患者に輪血され役立っています。

今年度の目標も四四四本です。お互いの尊い生命を守り合うため、献血の一層のご協力をお願いします。

献血功労者を表彰

村公衆衛生協議会では、三月三十日に開催した総会において、平成元年度献血功労者として、村内在住十回以上十九名、村外二十回以上四名を表彰しました。

村内表彰者は次のとおりです。

（敬称略）

二十回　坪谷　利之（木　津）
十六回　佐藤　公子（横　越）
十四回　岡田　文江（横　越）
十三回　渡辺　一正（横　越）
十二回　寺尾　春夫（二本木）
十二回　桑野　修（藤　山）
十二回　桑原　音次（沢　海）
十二回　本間　富雄（横　越）
十一回　星野　道雄（横　越）
十一回　宮沢　リイ（小　杉）
十一回　長谷部秀也（横　越）
十一回　佐藤　朝雄（横　越）
十一回　鈴木千鶴子（沢　海）
十一回　岡田なお江（木　津）
十回　木村　隆（沢　海）
十回　井越みゆき（二本木）
十回　神田たかよ（横　越）
十回　長谷部良幸（横　越）
特別表彰
五十二回　伊藤誠次（横　越）

献血にご協力を
5月30日(水)

午前10時～午後0時30分
午後1時30分～午後4時
山崎製パン㈱ 新潟工場

《消費税の確定申告と納税は正しくお早めに》

三月末決算法人のうち消費税の課税事業者に該当する法人は、平成二年五月三十一日が平成元年度分の消費税の申告と納税の期限です。

必ず期限内に申告と納税を済ませて下さい。

《消費税の課税事業者に該当する法人とは》

消費税の確定申告が必要な法人とは、次の法人をいいます。

①前々事業年度（3月末決算法人の場合、昭和62年4月1日～昭和63年3月31日）の課税売上高が三千万円を超える法人（前々事業年度の課税売上高の計算が困難な場合には、昨年の1月及び2月の2か月分の課税売上高を6倍した金額が3千万円を超える法人）

②消費税課税事業者選択届出を提出している法人

《納税が遅れると》

納税が遅れますと、平成二年六月一日から同年七月三十一日までの間は年七・三％、八月一日以降は年一四・六％の割合で延滞税がかかります。

詳しくは、最寄りの税務署・税務相談室でお尋ね下さい。